

氏名 石 橋 健

学 位 (専攻分野の名称) 博 士 (医 学)

学 位 授 与 番 号 博 乙 第 2329 号

学 位 授 与 の 日 付 平 成 3 年 9 月 30 日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者

(学位規則第4条第2項該当)

学 位 論 文 題 目 気管支喘息における体液因子に関する研究

第1編 血清糖蛋白 (α_1 -Antitrypsin, α_1 -Acid glycoprotein)
の変動について第2編 補体系C3 ($\beta_{1C/1A}$), C4 (β_{1E}) 値の変動について

論 文 審 査 委 員 教授 太田善介 教授 辻 孝夫 教授 産賀敏彦

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

気管支喘息の発症機序の一端を解明する目的で血清糖蛋白 α_1 -Antitrypsin (α_1 -AT), α_1 -Acid glycoprotein (α_1 -AG), 及び補体成分 C3, C4 を測定し, その変動について検討し, 以下の結果を得た。

第1編 血清 α_1 -AT, α_1 -AGは気管支喘息患者の感染型, 混合型の非発作期に高値を示し, α_1 -ATは重症例でその発作期に上昇し, 又, ステロイド薬使用例において α_1 -AT, α_1 -AG とともに発作期に上昇した。混合型, 感染型, 重症及びステロイド薬使用例のそれぞれの発作期で α_1 -AT, α_1 -AG には相関関係が認められた。

第2編 血清 C3, C4 とともに気管支喘息患者の感染型, 重症, ステロイド薬使用群において, その発作期に上昇し, 混合型, 感染型, 軽症, 重症のそれぞれの非発作期において C3 と C4 との間には相関関係が認められた。

以上, 血清 α_1 -AT, α_1 -AG 及び C3, C4 を測定することは, 気管支喘息の病態生理を把握するのに有用と考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は気管支喘息の発症機序の一端を解明する目的で血清糖蛋白 α_1 -Antitrypsin, α_1 -Acid glycoprotein, 及び補体成分 C3, C4 を測定し, その変動について検討したもので, これらは気管支喘息の病型, 病期, 治療などと相関関係が認められ, これらを測定することは, 気管支喘息の病態生理を把握するのに有用であることを示した価値ある業績である。

よって, 本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。